

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
8	6	玄関の施錠はしていない。身体拘束をしないケアに取り組んでいる。「禁止の対象となる具体的な行為」については勉強会を行う事にした。	「禁止の対象となる具体的な行為」について共通意識を持ち身体拘束ゼロをめざす。	2月に研修を行う。	1ヶ月
7	7	研修には何人かの職員が参加したが、全員ではないので勉強会を行うことにした。	高齢者虐待について勉強し防止に努める。	12月に研修を行い、防止に取り組んでいる。	継続中
1	8	対象者はいないが、研修に行った職員も理解出来て無い事があるし、知らない職員がいるので研修が必要である。	権利擁護について理解する。	11月に研修を行ったが、まだ良く分からない職員はホーム長に相談するシステムを作った。	終了
10	14	研修会で同業者との交流はあるが、ネットワークづくりは出来ていない。相互訪問は今後しようと思っている。	同業者での研修を行いたい。	未定	未定
5	24	職員各々情報は持っているが、全員が共通理解できるフェースシートをつくり直そうと思っている。	フェースシートを作り情報を共有する。	フェースシートを作り各担当で記入し回覧にて情報の共有をする。	1ヶ月

6	25	職員が手を出し過ぎている事があり、有する力の把握が不十分である。	利用者様の有する力を見極め元気に生活して頂く。	ユニット会議にて、利用者様の有すると思われる力がどの様な事があるかを話し合い実行し見極める。	1ヶ月
3	27	利用者様の言葉や状態は良く記録されているが、個別記録の記入方法がバラバラである為活かされてない。記録を基にしたの見極めも出来ていない。記録の方法を検討する。	個別ケアに沿った、利用者様の記録を充実させる。アセスメント、モニタリングに反映できる記録をする。	介護記録に個別サービスを添付しそれに基づいて記録をすることにした。	継続中
9	41	食事量の記録により把握出来ています。調理師によりバランスよい献立が提供されています。利用者の状態によりきざみ、ミキサー食にて摂取して頂いています。	1品でもいいので、ソフト食を提供する。	ソフト食の提供も少しずつ出来ているが、調理師と相談しソフト食を勉強し職員も作れるように研修する。	2ヶ月
4	47	薬の目的や副作用、用法、用量については理解が出来ていない。	現場で使える副作用を理解する。	各担当が利用者様の薬について勉強し、看護主任に提供した。その後現場で必要な注意事項を一覧表にしケア会議で話し合い情報の共有を行い常時見れるようにファイルを準備した。	継続中
2	54	慣れ親しんだダンスや孫の写真を持って来られているが、まだまだ殺風景な部屋もあるので、各担当が利用者や家族の方と話を話をして、心地よく暮らせる空間作りを考える事にした。	自分のペースで居室を有効活用して頂く。	ユニット会議にて、話し合い利用者様の写真や書道等の作品を飾った。	継続中
11	10	面会時に相談や意見はお聞きし、出来ることは改善できたが、まだ利用者や家族が意見、要望を表せる工夫が出来ていなので整備する。	意見要望を出しやすい環境にする。	利用者のコメント表に意見、要望を言える方法を常として入れ意見箱を設置した。アンケート(年2回)を行う。	継続中
12	1	開設時と同じ理念で現場に活かした介護が出来ているが、今の現状に沿っているか見直す。	毎年理念が現在の介護に沿っているか考える。	毎年3月のユニット会議にて職員全体で見直し確認する。	年度末

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。